

平成 28 年 8 月 17 日

8 月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木の丸太生産は盆明けに本格化する見通しで、出材はまだ少ない。入荷量の減少が長引き平年の水準を下回る状況。荷動きは全般に入荷減から引合い強く、一部で丸太の手当が逼迫する状況。スギは柱材が品薄感から引合い強いが、中目材は良材少なく低調。ヒノキは柱材に引合い強まり、中目材は若干の回復。丸太価格は長引く入荷量減少でスギ、ヒノキとも柱材が値上がりしており、盆明けの市況好転に期待。スギは柱材が引続き値を上げ、中目材は保合。ヒノキは柱材が強含み、中目材は保合で推移。

群馬の製材工場は通常通りの操業で、注文材の受注は多いが既製品は悪い。羽柄材に若干の動きが見られ、プレカット工場からの引合いも増加。原木の出材は若干少ないが、需要も少ないので値上げ幅は少ない。原木に多少の品薄感はあるが、国有林材が出始めたので逼迫感はない。原木の在庫は通常より少ない。製品の在庫は全て潤沢で、価格は全般的に低位安定状態。5~7 月前半に比べ荷動き感出てきた。

2. 米材

輸出向け丸太の産地情勢は、米・加とも 7 月中旬まで気温低く降雨もあり、山火事防止のための伐採規制は行われていない。産地の港頭在庫は潤沢。ウエアハウザー社の 8 月積み対日米マツ価格は、前月積比全ソート据え置き。6 月の米材丸太の入荷量は 230 千 m^3 で、1-6 月累計では前年同期比 17%増と依然好調なペース。出荷量は 212 千 m^3 で同累計では 8%増。在庫量は 295 千 m^3 で前月比若干減少。日本国内の大手米材工場の販売は、対前年比ではプラス幅が更に広がった模様。

米製材品の TLT(東京木材埠頭)7 月の入荷量は 31 千 m^3 (前月比 13%増)、出荷量は 28 千 m^3 (同 1%減)。在庫量は 52 千 m^3 (同 6%増)。6 月の米国住宅着工は年率 1,189 千戸で前月比 4.3%増。ランダムレングス紙の 7 月下旬 15 種木材価格平均は、6 月末比 4.3%アップ。現地価格は住宅市場の底堅さが伺え先行き強含みと予想。荷動きは 8 月もプレカットを中心に各社とも忙しく推移、依然パワービルダー系の仕事が目立つ。急激な為替の乱高下もあり、忙しい割には積極的な仕入れは感じられず、先行き各社とも柔軟な対応が要求される。

3. 南洋材

サバの原木出材は断食後、回復基調。インド勢の原木購買意欲は依然旺盛で、原木価格は強含み。その影響で製材品も値上げ基調。サラワクの原木出材の低迷は慢性化。サバ同様インドの原木買付けで価格は高値を維持。PNG ソロモンは天候が安定し原木出材は堅調。インド・中国が買い戻り、相場は強含み。南洋材全体の丸太の入荷は減少、出荷は横這い、在庫は減少。製材品の入荷は横這い。丸太の販売は合板・製材用とも変化なし。製材品は断食月を挟んだため入荷は減少しているが、市況が悪いため逼迫感はなく相場は横ばい。

4. 北洋材

シベリア地域は夏山移行時期で丸太手当は工場により濃淡。原料丸太は依然として中国との購買競争で高値維持。6月の関東の製品在庫は36千 m^3 で昨年同月比23%減。丸太価格はエゾマツ、カラマツ、アカマツいずれも保合。製材品は上級グレードが現地挽き、国内挽きとも保合。アカマツ原盤は原料不足で4月以降価格上昇続く。荷動きは現地挽き3.0cm \times 4.0cm上級グレード堅調。国内完成品は上級グレードが堅調で低級品は低調。国内の北洋材製材工場は特注品で採算維持、稼動は通常操業、原料調達丸太が6月以降減少、原盤は7月入荷順調。特殊材の受注多いが一般材は保合。

5. 合板

原料丸太のうちスギは横這いでカラマツは高値張り付き。ロシア材は成約少なく価格は横這い。米材は生産順調で価格は横這い。南洋材は原木状況が依然厳しく、価格は高値で張りついたまま。6月の国内合板総生産量26.6万 m^3 のうち、針葉樹合板は25.1万 m^3 で3月の過去最高生産量に迫る水準。出荷量も25.5万 m^3 で過去最高値を記録。在庫量は更に減らして10.9万 m^3 。国産針葉樹合板の8月販売価格は12mm、厚物ともに小幅な値上げ。需要は引続き旺盛で、8月減産が言われている中、玉不足は必至で、メーカー打出し価格はすんなり通ると予測。

国産針葉樹合板は、7月以降品薄感が更に強まっている。今まで優先されていたハウスメーカー、プレカット業者にも納期遅れが出ている模様で、木建ルートでは全アイテムで納期が不透明な状況。輸入合板の荷動きは12mm中心に変化なし。7月は円高により価格は完全に弱く、極端な安値も散見される状況。先行き国産針葉樹合板は、8月は盆休みを0利用した機械点検で生産減は免れず、更なる不足感が予想される。輸入合板は今後も弱含み状態が続くと思われるが、為替の不透明感から底の見えにくい状況。品薄品目は針葉樹合板全般、荷余り品目は特になし。

6. 構造用集成材

QTR3 のラミナは 5-12€値上がり。ラミナのオファー少なく必要量の確保が困難。WW は QTR4 も厳しい状況続く。国内集成材の受注は好調を維持。販売・荷動きは好調で WW 柱、RW 梁桁ともサイズによっては1ヵ月以上の納期。先行き今年中は好調が続くと予想。在庫は受注残があり少ない。価格は WW 柱にタイト感があり、若干上向き始めたが、他は横這いの状況。輸入集成材は現地在夏休みでオファー少ない。入港遅れもあり引続き供給は不安定。WW 柱の品薄で RW 柱への切り替え進む、スギ集成材柱は安価だが供給力少なく納期がかかり始めた。

7. 木材チップ

チップ用原木の入荷は総じて悪いが解体材は例年並み。消費は製紙用が NL とも変化なく、燃料用は例年並み。在庫は地区によりバラツキはあるが全体的には横這い。針葉樹チップ価格は製紙用・FIT 用とも高値材が値下げの動き。輸入チップは北米の生産が好調で、円高に伴い価格・運賃ともに下落。国内のチップ工場は、原料競合の激しい地域で稼働率低い。一部製紙会社は N チップの値下げの動き。

8. 市売問屋

国産材の構造材はスギ・ヒノキとも荷動き低調。造作材は建具材が時期的に軟調。外材の構造材は米ツガ、米マツの柱、母屋角の動き鈍化。造作材はスプルー・米ヒバ良材の引合い強いが入荷少なく苦慮。全般的に買方の仕事少なく在庫もあるため仕入れ意欲は少なく、来場者も必要当用買い中心。新設住宅着工は堅調だが景況感は全くなく、大手ハウスメーカーの偏重度がますます高まる。

9. 小売

国産材の構造材はスギ KD 柱・小割・板、ヒノキ KD 柱・土台とも保合。外材はロシアアカマツ野縁良材少なく入荷待ち、米ツガ角・平割とも保合、SPF 保合、WW 間柱保合。造作材はスプルー・ピーラー平割保合。タモ・ナラ平割品薄で強保合。集成材は WW 柱、RW 梁、柱ともに保合。合板は国産針葉樹、輸入品とも保合。プレカット工場は大手ビルダー中心の見積多いが、中小工務店からのオファー少ない。9 月以降新築・増改築物件が増加の見込み。

8月の需給・価格動向

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→
北洋材	丸太	↘	→	→
南洋材	丸太	↘	→	↘
	製材品	→		

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸 入 量		
	計	インドネシア	マレーシア
↘	→	→	→

3. 価格動向

樹材種	形 状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材(3m)2等	→
			スギ中丸太(3.65m)2等	→
			ヒノキ柱材(3m)2等	↗
			ヒノキ中丸太(4m)2等	↗
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ柱(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギ間柱 10.5×3.0×3m 特等	→
		スギタルキ3.0×4.0×4m	→	
		ヒノキ柱角(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→	
		ヒノキ土台角 12.0×12.0×4m 特等	→	
米材	丸太	産地価格	米マツ ISタイプ	→
		国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ ISタイプ コースト	↘
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角(KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	→
			米マツ桁角(GR) Std&Btr S4S 4・1/8'' 13'	→
			米ヒバ土台角(GR) Std&Btr 4・13/16'' 13'	→
		米マツ平角(KD) 特等 10.5×24.0×4m	→	
南洋材	丸太	産地価格	メランティレギュラー	→
		東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用 メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
	製材品	産地価格	ホワイトセラヤ 平割(サバ州産)	→
		東京・問屋店頭 渡し価格	同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	→
北洋材	製材品	国内卸売価格 (京浜・オントラ)	アカマツ(KD)30×40 AB アカマツ(KD)15×45AB 18×45AB	→
		東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	↗
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ スギ 無化粧 JAS 5プライ	↗
		東京・問屋店頭 渡し価格	スギ 無化粧 JAS 5プライ	↗
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	10.5×10.5×2.98m	↗
	欧州産	//		↗
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	→
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	→
			型枠 12.0mm厚 3×6	↘
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	↗